

# 質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	清水浩徳	<p>◎ 防犯・防災の取り組みについて</p> <p>1 児童・生徒・高齢者等を対象とした犯罪が複雑巧妙化している。          高齢者を狙った特殊詐欺は年々増加傾向にあるが、特殊詐欺犯罪に対する防止対策は。</p> <p>2 第7期総合計画では「地域防災計画」の見直しと「国土強靱化地域計画」の策定が計画されている。          平成28年に福祉避難所の見直しをしたが、町のホームページには平成23年度版の「鹿追町防災計画」が掲載されたままである。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染対策を踏まえた鹿追町地域防災計画の見直しを行なっているか。</p> <p>(2) 鹿追町防災計画に火山災害対処計画が未策定の理由は。</p> <p>(3) 鹿追町国土強靱化地域計画策定の進捗状況は。</p>
2	狩野正雄	<p>◎ 公共施設の保守管理、地域環境保全</p> <p>1 北瓜幕の旧西原環境コンポスト施設は、大型車両等の保管場所として有効に活用しているが、老朽化により修理が必要である。施設や機械器具の不具合を早期発見し、安全に運用していくためには保守と管理が重要である。          施設や機械器具の保守点検・管理方法・修理や更新判断はどのように行なっているか。</p> <p>2 廃屋になっている建物等についてどの程度把握しているか。          安全基準を満たさないもの、資産的価値がないと思われるものに対し、地域環境（景観）保全や防犯・防災対策の観点で条例をつくり処理する考えは。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
3	山口優子	<p>◎ 定期的な防災訓練・避難訓練の実施を 鹿追町の防災の取組について。</p> <p>(1) 町や地域での防災訓練・避難訓練の実施状況は。</p> <p>(2) 防災備蓄品の選択基準と備蓄量は。</p> <p>(3) 鹿追町の地域防災計画や総合防災ハザードブックはコロナ禍以前の基準である。感染症対策を盛り込んだ基準を踏まえ改定する必要があると思うが、どのように考えるか。</p> <p>(4) 避難所の開設・運営について、国や道からコロナ対策のガイドラインが示されている。避難所を設営し、実際に動くことにより情報伝達・職員等の動き・要配慮者への対応、安全性の確保等の課題も見つかる。避難所設営訓練を踏まえ検証した後、避難所運営マニュアルを整備しては。</p> <p>また、訓練を繰り返すことでより良い運営ができると思うが、どのように考えるか。</p> <p>(5) 地域防災計画には「行政区ごとの自主防災組織の育成を促進する」とあるが、住民の自発的な防災意識の啓発のため、どのような取組を考えるか。</p>
4	畑 久雄	<p>◎ 備品の管理状況について</p> <p>令和元年度決算審査意見書の備品管理状況によると、備品台帳に記載必須項目である取得年月日等がないものや、決裁がなく受付簿のみで廃棄・所管替えしているものがある。</p> <p>備品台帳確認表や受付簿も整備されていない等、取扱いが統一されていない。</p> <p>監査委員から適正な取扱いを周知する必要があると指摘されているが。</p> <p>(1) 検証と現状について。</p> <p>(2) 各部署での上司のチェック機能はどのようになっているか。</p> <p>(3) 適正な取扱いをするため今後の指導はどのように行うか。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
5	台蔵征一	<p>◎ アクセルとブレーキ踏み間違い防止「サポカー補助金」について</p> <p>近年、交通事故死者数は減少傾向にある一方、高齢者の割合は増加傾向で、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が増えているという。</p> <p>国は安全運転サポート車普及促進費補助を「サポカー補助金制度」として65歳以上の運転者を対象に導入している。</p> <p>安全運転サポート車の購入もしくはペダル踏み間違い急発進抑制装置等を後付けする費用への補助である。</p> <p>十勝管内でもこの制度に上乘せし、補助している自治体があるが、鹿追町はどのように考えるか。</p> <p>(1) 国の補助は、年度途中でも予算が無くなると終了する。鹿追町は「サポカー補助金制度」の推進をどのように考えているか。</p> <p>(2) 後付けの場合、装着可能車種は全体の50%ぐらいと言われている。安全運転支援策を実施することは望ましい。町民に対して制度説明の周知方法はどのようになるか。</p>